

大切な水

僕は生駒市に住んでいます。生駒市の北の方に高山町という町があり、そこにはくろんど池とため池があります。小学三年生の時に社会見学でバスの中から眺めたのを覚えています。高山は茶せん町の町として知られていて竹林や田畑がたくさんあります。ずっとずっと昔、田畑の作物を育てるために、水が必要でその頃の村の偉い人がため池を作ったそうです。そして今もそのため池の水が田畑に行き届くように水が流れます。水路のあふれんばかりの勢いの良い水を見た時、水の力とはすごいものだと感じました。この水のおかげで高山町に住む祖父父母の畑の野菜は枯れることなく収穫ができるのだと思っています。僕の生まれるずっと前、二百年以上も前の江戸時代の代官がため池を作ったのようには水を放流すれば、より多くの田畑まで水が行き届

生駒市立上中学校 二年

岡崎 史時

くかと思えた事は、とてもすごい人だと思いません。いろいろな所にも水が流れるとは、この作文を書きながら、僕は水が勢い良く流れている様子が目に浮かび、わくわくどきどきしました。

祖父父母の家の周りには竹林がたくさん在り、小さい頃は春になると竹の子やわらびを採りに山や竹林に出かけました。このような昔ながらの山里ですから、今も井戸水を使っています。井戸水と言うとホラー映画のおぼけが出てきそうな物を想像するかも知れません。しかし今は水道水と同じ様に蛇口をひねれば水が出てきます。便利なもので台所で使っているのを見ると水道水も井戸水も区別がつかいません。水をくみあげる電気代はかかりますが、水道代はかからずおいしい水がいつでも飲めます。母は結婚後、大阪に住みました。

母にとって大阪の水道の水はなじめず、実家に帰った時に大量の水をペットボトルに入れて持ち帰っていたそうです。そのため、僕のミルクも離乳食のおかゆもみそ汁もすべてこの井戸水を実家から運び作ってくれたと聞きました。

しかし祖父の話によると昔、周りの井戸が枯れた時には、近所で井戸水を分け合ったそうです。祖父も井戸の水がいつなくなるか不安に思ったそうです。その時も水の枯れなかった井戸は、今現在も庭の植木、花壇の花にたっぷり水をやることができ祖父母の日々の生活を支えています。祖父は井戸の水で抹茶をたてて毎日飲んでいました。とてもおいしそうに飲んでいると思います。

人が生きる上で「水」は無いといけないものだと思います。トマトやピーマンが嫌いなという人はたくさん居ると思いますが水が飲めないという人ははいないと思います。人が生きる中で水とはあまりつながっていないように、実は深くつながっていると感じます。僕はあまり水について深く考えなかったけれど、この作文を書いていると水のありがたみや水の

もたらす力に気づきました。人が生きるためには水を飲み、植物を育てるためには水をやり、魚を飼うためには、水を水槽に入れます。水は人だけでなく、生きている生物すべてに影響をあたえていると僕は思いました。そして人は水だけではなく水で育った植物や、水の中で生きた魚を食べて生き続けています。日本では、蛇口をひねれば綺麗な水がいくらかでも出てきますが他の国では泥水が出てきたり、水が出なかつたりするので、水を大切にしていきたいです。